

よりグローバルに、日本文化の伝統を継承 AI 通訳機「ポケットーク」が「GINZA KABUKIZA」で導入 ～ 順次導入範囲を拡大 ～

ポケットーク株式会社(本社:東京都港区芝二丁目 2 番 12 号 浜松町 PREX4階 代表取締役社長:若山 幹晴)は、松竹株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員:高橋 敏弘)が業務展開する「GINZA KABUKIZA」で、弊社の AI 通訳機「ポケットーク(端末)」が本格的に導入されましたことをお知らせします。



「GINZA KABUKIZA」は、「歌舞伎座」と「歌舞伎座タワー(オフィスタワー)」から成る複合施設の総称で、2013年に松竹株式会社と株式会社歌舞伎座の共同事業としてオープンしました。昨今ではインバウンド需要が回復したことを受け、銀座～築地エリアはもちろん、その中間地点に位置する東銀座エリア、「GINZA KABUKIZA」周辺も訪日客でにぎわっており、日本の伝統文化である歌舞伎にも注目が集まっています。

この度、訪日客の増加に伴う多言語対応のニーズ拡大を受け、「GINZA KABUKIZA」内で AI 通訳機「ポケットーク」が導入されました。

海外から多くの観光客が訪れる中、多くのお客様の文化体験を促進し、よりスムーズなご案内をはじめとする満足度向上を目指し、「GINZA KABUKIZA」内のショップや飲食店をはじめとし、案内所や警備・巡回スタッフが活用します。

歌舞伎座における 2023 年のチケット販売実績は、米国や英国をはじめとする英語圏のみならず、スペインやイタリアといったヨーロッパ諸国や、シンガポールや香港、中国といったアジア圏など、幅広い国と地域から来場者が訪れており、想定される使用言語も多岐にわたります。これらの実績をふまえ、全 85 言語(うち 11 言語はテキストのみ)をリアルタイムに翻訳でき、スムーズなコミュニケーションを実現する「ポケットーク」が導入されました。

また、今後もショップや飲食店、案内所にとどまらず、歌舞伎の隆盛と銀座～築地地区の更なる活性化に繋がる「GINZA KABUKIZA」との協業および導入拡大を推進いたします。

ポケットーク株式会社は、「言葉の壁をなくす」をミッションに掲げ、相手の言葉を話せなくても互いに自国語のまま対話でき、深くわかり合える世界の実現を目指しています。今後もこうした「観光における言葉の壁」に着目し、「ポケットーク」シリーズを世界中に広げてまいります。

【 AI通訳機「ポケットーク」とは 】

「ポケットーク (POCKETALK)」は、互いの言葉を話せない人同士が自国語のままでも対話できるAI通訳機です。74言語を音声・テキストに翻訳し、11言語をテキストのみに翻訳できます。クラウド上の最新最適なエンジンとAIを使った翻訳精度の高さが特長で、長い文章も訳せます。Wi-Fiのない所でも世界130以上の国と地域(「ポケットーク S」: 141の国と地域、「ポケットーク W」: 139の国と地域)で、そのまま使えるモバイル通信機能を内蔵し「契約不要、通信料なし(2年間)」で、買ってすぐ使えます。

「ポケットーク」シリーズ(初代、「ポケットーク W」、「ポケットーク S」および「ポケットーク S Plus」を含む)の累計出荷台数(サンプル等除く)は、2017年12月の発売以来、2022年12月時点で100万台を突破しました。

詳細 URL: <https://pocketalk.jp/>



「POCKETALK(ポケットーク) S」

コピーライト表記について

■製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

©POCKETALK CORPORATION

お客様お問い合わせ先

■ソースネクスト・カスタマーセンター : <https://pocketalk.jp/support>

■ご購入前相談窓口 : <https://pocketalk.jp/business/contact>

本製品に関する報道関係者のお問い合わせ先

■担当 : ポケットーク株式会社 広報

■連絡先 : 「ポケットーク」専用 報道関係者 URL <https://pocketalk.jp/media/>

TEL 050-5533-4605 FAX 03-6254-5236 MAIL pr@pocketalk.com